

船舶事故調査報告書

平成22年5月13日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲也
 委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成21年3月1日 07時25分ごろ
発生場所	長崎県平戸市平戸島東岸 田平港西防波堤灯台から真方位219° 1,290m付近 （概位 北緯33° 21.3′ 東経129° 33.9′）
事故調査の経過	平成21年3月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 ^{りゅうぎょく} 龍玉丸、1,580トン 133064、株式会社丸道興産 75.63m×14.80m×7.82m、鋼 ディーゼル機関、1,471kW、平成4年5月
乗組員等に関する情報	一等航海士 男性 46歳 四級海技士（航海） 免許年月日 昭和62年7月9日 免状交付年月日 平成19年1月10日 免状有効期間満了日 平成24年7月8日
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷等
事故の経過	本船は、船長及び一等航海士ほか3人が乗り組み、平戸島東岸沖を平戸瀬戸向け航行中、平成21年3月1日05時40分ごろ、一等航海士が船長から操船を引き継ぎ単独の船橋当直に当たった。 一等航海士は、針路を約013°（真方位）、速力を約12.5ノット（kn）（対地速力）として自動操舵により航行中、背もたれ及び肘付きのいすに座った姿勢で船橋当直を続けているうちに居眠りに陥ったため、予定変針場所を通過し、07時25分ごろ平戸島東岸に乗り揚げた。 事故後、船長は浸水がないことを確認し、07時35分ごろ会社及び海上保安庁に連絡した。本船は11時55分ごろ救援船により離礁した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約4.5～4.7m/s、視界 良好 海象：波 ほとんどなし、潮流 ほとんどなし
その他の事項	本船は、03時00分ごろ～05時20分ごろまでクレーンにより揚げ荷役をしており、一等航海士は、揺れと音によりよく眠れなかった。 本船は、平戸瀬戸を通過するときは、船内電話で船長に連絡をとり、昇橋を促していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、平戸島東岸沖を平戸瀬戸に向けて自動操舵で航行中、単独で船橋当直中の一等航海士が居眠りに陥り、予定変針場所を通過し、平戸島東岸に向けて航行して乗り揚げたものと考えられる。 一等航海士は、本船の揚げ荷役により睡眠が不足していた可能性があると考えられる。 一等航海士は、背もたれ及び肘付きのいすに座った姿勢で操船を続けているうちに居眠りに陥ったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、平戸島東岸沖を平戸瀬戸に向けて航行中、単独で船橋当直中の一等航海士が居眠りに陥ったため、予定変針場所を通過し、平戸島東岸に向けて航行して乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	